

楽しい図書館

C1240693 後藤優弥

問題・・・ これまで以上に利用したくなるような図書館を提案する
はじめに

東北公益文科大学の図書館はとても広く、たくさんの蔵書があるほか、各自で静かに勉強ができるスペースがあり、大変便利である。この図書館をさらに利用したくなるような案を提案する。

1. 共感

まず、周りの人々が図書館に関してどのような不満があるかという質問を友達にむけて実施した。その結果、「冷暖房がきいていない」という意見が多くみられた。このことを踏まえ、私自身も図書館で勉強をしてみることにした。その日は天気が良く日が照っていたが、とても暑く感じ、私自身も冷房がきいていないということを感じた。図書館は静かに集中して勉強する場所でもあることから、このことを改善する必要があると感じた・

2. 課題定義

今回のインタビューの結果や私自身の体験を踏まえ潜在的ニーズとして、日差しを避けられるものや、自由に飲み物を飲めるものが欲しいのではないかと考えた。これらのニーズの課題定義として、図書館で快適に勉強するにはそうすれば良いかということが考えられる。

3. プロトタイプの提案

まず、課題解決に向けたコンセプトは、「快適な環境で集中して勉強できる図書館」とする。そして、このコンセプトに対する「プロダクト」として、「窓際にカーテンを設置する」ことだったり、「飲食可能なスペースを作る」といったことが良いのではないかと考える。これらのことをすることにより、図書館で集中して勉強ができるのではないかと考える。

4. 期待される効果

上記のプロトタイプである「窓際にカーテンを設置する」ことをすることにより、眩しいときにカーテンを閉めるなど、その時の環境に合わせて明るさを調節できると考える。また、「飲食可能なスペースをつくる」では、現在のルールである「水やお茶以外は飲食禁止」というルールがあるが、図書館内に飲食可能なスペースを作ることにより、図書館を出なくても自由に飲み食いすることができ、暑くても水分補給をすることができる。これらのことから、集中して勉強に取り組むことができるのではないかと考える。

おわりに

もっと利用したくなるような図書館を考えてみたが、現時点で図書館は多様な設備が整っており、利用しやすいので、もっと利用しやすくなる方法を考えることが難しかった。今回二種類のプロトタイプを考案してみたが、これらが反映されれば、私も図書館を利用する頻度が上がるであろう。このレポートを作成したことを通し、勉強する際のまわりの環境がいかに大事であるかということを改めて認識することができた。